

案内

東日本大震災の被災地を覚えての祈祷会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

12月11日(木)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時5分

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時40分～13時10分

大学ハンドベル・クワイア 第31回クリスマス・チャペルコンサート

日時 12月13日(土) 18時開演

場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

大学クリスマス礼拝

青山キャンパス

日時 12月16日(火) 18時30分～19時30分

場所 ガウチャー記念礼拝堂

説教 平野 克己 (代田教会牧師)

相模原キャンパス

日時 12月18日(木) 18時30分～19時30分

場所 ウェスレー・チャペル

説教 キスト岡崎 さゆ里 (日本キリスト教団協力宣教師)

2014年度 クリスマス献金送付先

今年度も皆様のご協力をお願い致します。

●カタンガ・メソジスト大学(コンゴ民主共和国)

本学と同じIAMSCU(メソジスト関係学校国際同盟)加盟校。この地域は食糧自給率が極端に低く、多くの人々が貧困・飢餓に苦しんでいます。また17歳以下が全人口の半分を占めており、それゆえ学校教育の充実、とくに農業教育や情報教育の環境整備が急務とされています。

●被災者支援センター・エマオ(日本キリスト教団東北教区)

東日本大震災の被災地ではまだたくさんの方々が助けを必要としています。多くのものを失った方々に心から寄り添い、人々の思いを共有できることを目指してボランティア派遣の活動を展開しています。

●社会福祉法人「光の子どもの家」(埼玉県加須市)

1985年に認可された児童養護施設であり、様々な事情により家族と生活をする事ができない子どものための施設です。2012年にはドキュメンタリー映画『隣の人』が公開されました。創立当初から本学と深い関わりがある施設です。

青山学院大学礼拝週報

2014. 12.8.
No. 29

待降節第2週

教会史の人々 [14]

「教皇ヨハネ・パウロ二世」

Pope John Paul. II (1920-2005)

ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世は20世紀において最も重要な人物として支持されたキリスト者の一人であり、同時にカトリック教会の最高位聖職者として歴史上最も頻繁に世界各国を訪問し大きな影響を与えた人物でもあります。

彼は本名をカロル・ヨゼフ・ヴォイティワと言ひ、ポーランドに生まれました。第二次大戦中はナチス・ドイツの攻撃と支配下で母国の言葉と文化を守り、戦後は司祭として、第二ヴァチカン公会議(1962-1965)においてカトリック教会の改革のために重要な貢献をします。

1978年、ポーランド人として初めて、しかも58歳という若さで教皇に任命された後の27年間の働きには目覚ましいものがありました。その働きの中には「和解」でした。ユダヤ教徒、東方正教会、プロテスタント教派との和解をはじめ、ダライ・ラマなど諸宗教の代表者とも積極的に対話しました。さらにはポーランド訪問などを通して東西冷戦の終結にも影響を与えたと評価されています。

ヨハネ・パウロ二世は「死の文化」に対して「生命の文化」を掲げ、人々の生命の尊厳と平和のために尽力しました。そのことは長く人々の心に記憶されていくことでしょう。



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

今年度の主題聖句

神から受けた純真と誠実によって

(コリントの信徒への手紙 二 第1章12節)